

ウガンダ訪問記

ささやかな支援が、人々を勇気づけている

安房南高ボランティア
委員会顧問 愛沢 伸雄

後十日間の私の宿泊場所
となつた。

職員・生徒会を代表して
親しく挨拶を交わした。

中悪路を車で二時間近く
走り、チタリア村の小中
学校・診療所・職業訓練
センター建設現場に案内

歓迎セレモニーで

今回の訪問では、まず
CUFIの代表ゼンバラ
さんと再会し、安房南教

見聞きするため、私た
ちの支援先であるムベ
ンテニアに向けて出
発した。カンバラから途

みながら CUFIを通じての、私たちの支援によ
つてどれほど救われた
か、どの話に涙がとまら
なかつた。私たちのささ
やかな支援でも、この村
の人々をどんなに勇気づ
けてきたかを、この時
はつきり確認した。

この席で、私は山中長のメッセージを代読し
たが、ウガンダの人々を
励ます力強い言葉に、セ
ンバラさんはじめ皆さん
に感銘を与えたことを報
告したい。

ウガンダでの歓迎セレモニーが行わ
れ、高塚さんの通訳で現
地の方の話を聞いた。国
連のユニセフ支援もな
く、内戦やエイズで苦し
みながら CUFIを通じての、私たちの支援によ
つてどれほど救われた
か、どの話に涙がとまら
なかつた。私たちのささ
やかな支援でも、この村
の人々をどんなに勇気づ
けてきたかを、この時
はつきり確認した。

この席で、私は山中長のメッセージを代読し
たが、ウガンダの人々を
励ます力強い言葉に、セ
ンバラさんはじめ皆さん
に感銘を与えたことを報
告したい。

セレモニーの最後に支
援金千ドルをゼンバラさん
に手渡した。

ウガンダ訪問記

(下)

ささやかな支援が、人々を勇気づけている
安房南高ボランティア
委員会顧問 愛沢 伸雄

アフリカから21世紀の日本を見る

いま世界が日本に求め

点で、二十世紀前半の日

本とアジアとの深い傷跡

を今日的に省察すること

が重要である。その姿勢

が結局は、二十一世紀に

日本が世界に貢献する道

を切り開いていくと思

う。

ウガンダの地から、

実はその貢献の道の芽が

かにた」や本校生徒に

よる、草の根のウガンダ

支援活動の中で育つてい

る」と感じた。

現地の柴田さんの運転

で赤土の悪路のなか、十

日間フルに動いた。走行

距離も三千。近くあつた

川さんや高塚さん(元ウ

ガンド「かにた」事務所

勤務)、現地でボラン

ティア活動を続けている

柴田さんの適切なアドバ

イスと通訳なしには、私

の訪問目的は達成され

なかった。この紙上をお借

りし深く感謝申し上げた

い。

これらの記事は、イン
ターネットの南高ホームページでみることができ
る。

〔ホームページアドレス
http://www.awa.or.jp/
home/awamw98/〕



ウガンダ再建の姿
「かにた」が現
在取り組んでいる支援活
動を見て回った。
その一つは、ここ数年
や高塚さんなどが支援し
ている現地ボランティア
団体や、南高生のジャ
ージなど中古衣類を送って
いる支援先を訪れた。
また、一年前のコンテ
ナの送り先であつたウガ
ンダ知的障害者協会(U
AMH)プロジェクトで
日本を含み年間一人十万円
近く)を受給してきた孤
校として認知されたエリ
ザベスさんが運営する、
しかも明るく接してく
れられた子供たちの姿が、今
も目に焼き付いている。

器具も欠く勉強環境に
埠つてはいても力強く生
きようとする彼女の姿に
接して、今後のウガンダ
再建の礎になっていくと
予感した。

二つ目には、塩川さん
がボランティ
ア・孤児保護センター
を訪れたが、昨年七月に
南高生たちがボランティ
ア希望を与えるデーヴィッ

安房南高ボランティア
委員会顧問 愛沢 伸雄

交流と支援は5年前から
今から五年前、私たち
は「かにた婦人の村」の
深津文雄牧師の紹介によ
り、来日中のゼンバラさ
んと出会つた。以来、生
徒会・ボランティア委員
会では、「ウガンダの子供
たちに夢と希望を」を合
言葉に、「かにた」の支
援活動に協力しながら、
センバラさんを代表とす
るNGO組織「ウガンダ
意識向上財團(CUF
I)」とのささやかな交
流を続けてきた。

私は今回、校長先生は
じめ安房南高の皆さんの
ご配慮をいただき、ボラ
ンティア委員会顧問とし
て二週間にわたりウガ
ンダ訪れる機会をもつ
た。そして、ゼンバラさ
んと五年ぶりの再会を果
たし、私たちの支援が現
地でどう実つてゐるのか
を見聞きしてきた。その
十四日間のウガンダでの
動きを簡潔に報告する。

一月九日に成田を發
ち、途中の乗り継ぎ待ち
を入れて三十数時間後
現地では十日午後ウガ
ンダのエンテベ空港に到
着した。田舎風でのんび
りしている空港に、嚴戒
態勢が敷かれているとも

シテ。一月九日に成田を發
ち、途中の乗り継ぎ待ち
を入れて三十数時間後
現地では十日午後ウガ
ンダのエンテベ空港に到
着した。田舎風でのんび
りしている空港に、厳戒
態勢が敷かれているとも

現地では十日午後ウガ
ンダのエンテベ空港に到
着した。田舎風でのんび
りしている空港に、厳戒
態勢が敷かれているとも